平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場会社名　富士重工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7270　URL　http://www.fhi.co.jp/ir/index.html
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 吉永　泰之
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長　(氏名) 山藤　和典　TEL 03-3347-2005
四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	655,023	△18.5	18,760	△67.3	21,563	△63.3	32,753	△26.5
23年3月期第2四半期	803,994	26.5	57,349	—	58,825	—	44,566	—

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　23,726百万円　(△13.4%)　23年3月期第2四半期　27,386百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	41.97	—
23年3月期第2四半期	57.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,266,910	434,334	34.2
23年3月期	1,188,324	413,963	34.7

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　432,995百万円　23年3月期　412,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
24年3月期	—	4.50			
24年3月期(予想)			—	4.50	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,480,000	△6.4	30,000	△64.3	29,000	△64.7	36,000	△28.5	46.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	782,865,873 株	23年3月期	782,865,873 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,404,874 株	23年3月期	2,605,141 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	780,346,923 株	23年3月期2Q	779,165,554 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

＜添付資料　目次＞

１．当四半期決算に関する定性的情報..... 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報..... 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報..... 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報..... 4
２．サマリー情報（その他）に関する事項..... 4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用..... 4
３．四半期連結財務諸表..... 5
（１）四半期連結貸借対照表..... 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... 7
四半期連結損益計算書..... 7
四半期連結包括利益計算書..... 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... 9
（４）継続企業の前提に関する注記..... 11
（５）連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更..... 11
（６）追加情報..... 11
（７）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... 11
（８）その他注記情報..... 12
（９）セグメント情報等..... 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の売上高につきましては、東日本大震災の影響に加え、円高による為替レート差の影響を受けたことなどにより、6,550億円と前年同期比1,490億円（18.5%）の減収となりました。

利益面につきましては、売上高の減少に伴い、営業利益が188億円と前年同期比386億円（67.3%）の減益となり、経常利益につきましても、216億円と前年同期比373億円（63.3%）の減益となりました。また、四半期純利益につきましても、本年４月に新宿スバルビルを売却したことに伴う特別利益261億円を計上しましたが、328億円と前年同期比118億円（26.5%）の減益となりました。

[セグメントの状況]

第２四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

①自動車事業部門

東日本大震災の影響により大幅に生産台数が減少したことなどにより、スバルの販売状況等は、以下の通りとなりました。

国内におけるスバルの登録車販売は、新エンジンを搭載した「フォレスター」が前年同期を上回る好調な推移となり、昨年11月に発売した「トレジア」も台数の上積みに寄与したことから全体需要を上回る販売実績となりましたが、売上台数は36千台と前年同期比２千台（4.9%）の減少となりました。

また、軽自動車につきましても、５月に「ステラ」のフルモデルチェンジを行いましたが、その他車種による落ち込みをカバー出来ず、売上台数は37千台と前年同期比14千台（27.7%）の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は73千台と前年同期比16千台（18.0%）の減少となりました。

海外につきましては、地域別の売上台数が、北米で128千台と前年同期比16千台（11.0%）の減少、ロシアを含む欧州で20千台と前年同期比９千台（31.3%）の減少、豪州で16千台と前年同期比５千台(23.7%)の減少、中国で19千台と前年同期比13千台（40.9%）の減少、その他地域で10千台と前年同期比６千台(38.4%)の減少となりました。

これらの結果、海外における売上台数の合計は193千台と前年同期比49千台(20.3%)の減少となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は266千台と前年同期比65千台（19.7%）の減少となり、全体の売上高は、為替の円高による影響もあり、5,943億円と前年同期比1,477億円（19.9%）の減収となりました。また、セグメント利益につきましても、171億円と前年同期比384億円（69.3%）の減益となりました。

②航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では固定翼哨戒機「P-1」や部品等の売上が増加したものの、「F-2」戦闘機の契約終了による売上の減少等により、売上高は前年同期並みとなりました。

また、民間向け製品では「ボーイング777」の売上は増加したものの、円高による為替レート差の影響などにより、売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果、全体の売上高は374億円と前年同期並みとなりましたが、セグメント利益につきましては、売上構成が改善したことにより、10億円と前年同期比５億円（92.0%）の増益となりました。

③産業機器事業部門

国内につきましては、東日本大震災の復興向け発電機を中心として販売台数が伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

一方、海外につきましては、ロシア、中東、東南アジア向けなどにおいてエンジン販売が堅調に推移したものの、北米向けのエンジン販売が大きく低迷したことに加え、為替の円高の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、全体の売上高は173億円と前年同期比９億円（5.5%）の増収となりました。セグメント利益につきましても、３億円と前年同期比２億円（171.7%）の増益となりました。

④その他事業部門

風力発電システム関連の売上が減少したことなどにより、売上高は59億円と前年同期比21億円（26.6%）の減収となりました。セグメント利益につきましても、４億円と前年同期比９億円（70.2%）の減益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、1兆2,669億円と前期末に比べ786億円の増加となりました。主な要因は、銀行借入による運用資金の増加に伴い、有価証券が928億円増加したことなどであります。

負債につきましては、8,326億円と前期末に比べ582億円の増加となりました。主な要因は、社債を200億円償還したものの、銀行借入の実施により、長期借入金が709億円増加したことなどであります。

純資産につきましては、4,343億円と前期末に比べ204億円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が293億円増加したことであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,793億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は92億円（前年同四半期は905億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を402億円計上したものの、売上債権の増加237億円、たな卸資産の増加189億円があったことなどであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は140億円（前年同四半期は265億円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の売却による収入（取得による支出との純額）135億円などであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は522億円（前年同四半期は292億円の減少）となりました。主な要因は、社債の償還による支出200億円があったものの、長期借入れによる収入（返済による支出との純額）709億円があったことなどであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期第２四半期連結累計期間の連結業績につきましては、平成23年８月２日に公表した業績見通しに対し、販売費等の諸経費削減が進んだこと、また国内外で販売が計画を上回ったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益が見通しを上回りました。

しかしながら、平成24年３月期通期の連結業績予想につきましては、販売台数を前回予想比13千台増の645千台とすると共に、引き続き諸経費削減に努めるものの、為替の円高が更に進行していることから、売上高１兆4800億円、営業利益300億円の前回予想を据え置きます。

経常利益につきましては為替予約の影響などにより290億円に、当期純利益につきましては360億円にそれぞれ見直します。

なお、通期の連結業績予想数値の前提となる為替レートは１米ドル78円（前回公表81円）、１ユーロ108円（前回公表115円）となっております。また、下期の為替レートは１米ドル77円、１ユーロ105円としております。

平成24年３月期通期連結業績予想(平成23年４月１日～平成24年３月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,480,000	百万円 30,000	百万円 25,000	百万円 35,000	円 銭 44.90
今回発表予想(B)	1,480,000	30,000	29,000	36,000	46.13
増減額(B-A)	0	0	4,000	1,000	
増減率(%)	0	0	16.0	2.9	
(ご参考)前期実績 (平成23年３月期)	1,580,563	84,135	82,225	50,326	64.56

２．サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	211,700	164,167
受取手形及び売掛金	76,810	100,514
リース投資資産	23,050	21,925
有価証券	21,063	113,835
商品及び製品	72,871	85,006
仕掛品	56,567	57,966
原材料及び貯蔵品	36,974	37,466
繰延税金資産	13,754	13,794
短期貸付金	59,986	71,776
その他	39,396	43,735
貸倒引当金	△1,851	△1,935
流動資産合計	610,320	708,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	118,267	114,225
機械装置及び運搬具（純額）	81,261	91,032
土地	177,697	171,224
賃貸用車両及び器具（純額）	11,751	7,539
建設仮勘定	21,391	15,395
その他（純額）	20,475	18,842
有形固定資産合計	430,842	418,257
無形固定資産		
その他	12,040	11,346
無形固定資産合計	12,040	11,346
投資その他の資産		
投資有価証券	68,052	65,379
繰延税金資産	1,812	2,125
その他	69,269	65,523
貸倒引当金	△4,011	△3,969
投資その他の資産合計	135,122	129,058
固定資産合計	578,004	558,661
資産合計	1,188,324	1,266,910

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,895	184,334
短期借入金	99,072	104,146
1年内返済予定の長期借入金	20,902	20,786
1年内償還予定の社債	20,010	20,010
未払法人税等	2,089	5,392
未払費用	60,876	51,901
賞与引当金	16,322	16,269
製品保証引当金	27,172	26,661
工事損失引当金	4,681	5,083
その他	52,684	57,432
流動負債合計	480,703	492,014
固定負債		
社債	24,080	4,075
長期借入金	166,562	237,591
繰延税金負債	14,002	13,604
退職給付引当金	33,707	33,674
役員退職慰労引当金	561	419
その他	54,746	51,199
固定負債合計	293,658	340,562
負債合計	774,361	832,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	156,948	186,225
自己株式	△1,381	△1,259
株主資本合計	469,433	498,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,567	10,653
為替換算調整勘定	△68,339	△76,490
その他の包括利益累計額合計	△56,772	△65,837
少数株主持分	1,302	1,339
純資産合計	413,963	434,334
負債純資産合計	1,188,324	1,266,910

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
【第２四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	803,994	655,023
売上原価	620,231	523,544
売上総利益	183,763	131,479
販売費及び一般管理費	126,414	112,719
営業利益	57,349	18,760
営業外収益		
受取利息	554	531
受取配当金	358	382
持分法による投資利益	2,146	453
不動産賃貸料	260	263
デリバティブ評価益	3,363	5,710
その他	1,181	1,212
営業外収益合計	7,862	8,551
営業外費用		
支払利息	2,593	1,921
為替差損	1,962	1,341
その他	1,831	2,486
営業外費用合計	6,386	5,748
経常利益	58,825	21,563
特別利益		
固定資産売却益	58	26,455
投資有価証券売却益	358	526
貸倒引当金戻入額	244	－
貸付債権譲渡益	324	－
その他	11	114
特別利益合計	995	27,095
特別損失		
固定資産除売却損	503	638
減損損失	835	63
災害による損失	－	7,257
過年度損益修正損	1,347	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	372	－
建替関連損失	657	－
その他	407	513
特別損失合計	4,121	8,471
税金等調整前四半期純利益	55,699	40,187
法人税等合計	11,035	7,394
少数株主損益調整前四半期純利益	44,664	32,793
少数株主利益	98	40
四半期純利益	44,566	32,753

四半期連結包括利益計算書
【第２四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	44,664	32,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,640	△914
為替換算調整勘定	△15,493	△8,224
持分法適用会社に対する持分相当額	△145	71
その他の包括利益合計	△17,278	△9,067
四半期包括利益	27,386	23,726
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,298	23,688
少数株主に係る四半期包括利益	88	38

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	55,699	40,187
減価償却費	27,566	27,810
減損損失	835	63
賞与引当金の増減額（△は減少）	△249	△59
製品保証引当金の増減額（△は減少）	2,097	86
工事損失引当金の増減額（△は減少）	1,164	402
退職給付引当金の増減額（△は減少）	856	△179
受取利息及び受取配当金	△912	△913
支払利息	2,593	1,921
デリバティブ評価損益（△は益）	△3,363	△5,710
持分法による投資損益（△は益）	△2,146	△453
固定資産除売却損益（△は益）	445	△25,817
売上債権の増減額（△は増加）	13,366	△23,667
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,420	△18,877
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,409	9,393
リース投資資産の増減額（△は増加）	3,782	1,125
営業貸付金の増減額（△は増加）	△2,162	△5,906
賃貸用車両及び器具の増減額（△は増加）	△2,889	3,148
預り金の増減額（△は減少）	1,010	△570
その他	7,616	△3,833
小計	98,479	△1,849
利息及び配当金の受取額	915	1,116
利息の支払額	△2,687	△1,847
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△6,223	△6,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	90,484	△9,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,741	△3,527
有価証券の売却による収入	2,214	1,973
有形固定資産の取得による支出	△23,539	△20,632
有形固定資産の売却による収入	529	34,111
無形固定資産の取得による支出	△1,598	△1,236
投資有価証券の取得による支出	△10,193	△8,491
投資有価証券の売却による収入	9,053	7,432
貸付けによる支出	△40,624	△38,850
貸付金の回収による収入	42,025	41,578
その他	△2,650	1,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,524	13,952

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△9,433	5,074
長期借入れによる収入	13,370	77,020
長期借入金の返済による支出	△12,584	△6,146
社債の償還による支出	△20,005	△20,005
配当金の支払額	－	△3,512
その他	△530	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,182	52,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,083	△5,302
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	22,695	51,567
現金及び現金同等物の期首残高	191,466	227,704
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	32
現金及び現金同等物の四半期末残高	214,161	279,303

（４）継続企業の前提に関する注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
該当事項はありません。

（５）連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
（持分法適用の範囲の変更）
スバルカスタマイズ工房株式会社は、当社の連結子会社である桐生工業株式会社と平成23年４月１日に合併したことにより、第１四半期連結会計期間より持分法の適用範囲から除外しております。
スバル　オブ　ホンコン　ＬＴＤ．は、重要性が増したことにより、当第２四半期連結会計期間より持分法の適用範囲に含めております。

（６）追加情報

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）
第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（連結納税制度の適用）
第１四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

（７）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
該当事項はありません。

（８）その他注記情報

（四半期連結損益計算書関係）

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

（特別損失）

１）当第２四半期連結累計期間において当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

用途	場所	種類
遊休資産	東京都　他10件	建物及び構築物、土地、他

減損損失を認識した遊休資産については個別の物件毎にグルーピングしております。

（科目別の計上額）

科目	金額
建物及び構築物	79 百万円
土地	754 百万円
その他	2 百万円
合計	835 百万円

２）特別損失における過年度損益修正損1,347百万円は、過年度の売上原価を修正したものであります。

３）エビススバルビルの建替に関連して、以下の特別損失を計上しております。

内容	金額
解体費用見積もり額	334 百万円
臨時償却費	323 百万円
合計	657 百万円

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

（特別利益）

固定資産売却益のうち、26,143百万円は当社と当社の連結子会社であるスバル興産株式会社が新宿スバルビルおよび同敷地を小田急電鉄株式会社に売却したことによるものであります。

（特別損失）

災害による損失は東日本大震災によるものであり、主に操業等低下分の固定費用であります。

（9）セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	742,042	37,433	16,438	795,913	8,081	803,994	－	803,994
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,239	－	3	1,242	6,326	7,568	△7,568	－
計	743,281	37,433	16,441	797,155	14,407	811,562	△7,568	803,994
セグメント利益	55,498	528	92	56,118	1,237	57,355	△6	57,349

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

２．セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	594,314	37,436	17,341	649,091	5,932	655,023	－	655,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,268	－	50	1,318	6,039	7,357	△7,357	－
計	595,582	37,436	17,391	650,409	11,971	662,380	△7,357	655,023
セグメント利益	17,050	1,014	250	18,314	369	18,683	77	18,760

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。